



# 隊友千葉だより

平成30年1月号 (No. 51) 千葉県隊友会事務局

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096  
電子メール chibatayuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibatayuu.com/

【事務所 開所時間】  
月・火・水・金曜日  
1000~1500 山田理事役

## 「美しい日本の憲法をつくる国民会の会」集会に参加

昨10月25日(水)、15時から東京・海員クラブホールにおいて、同会主催で集会が開かれ、憲法に自衛隊を明記することを早期に、かつ党派を超えて合意し、その憲法改正原案を早期に国会に提出することを訴えた。

集会は、国民の会の活動概要や「ありがとう自衛隊キャンペーン」の紹介の後、国歌斉唱、共同代表挨拶、共同代表基調発言、各界からの提言、国会議員挨拶、意見表明、決議文の承認、同決議文の国会議員(自民党、日本維新の会)への手交、最後に日本青年会議所黒川氏の音頭で勝ち鬨をあげ、閉会した。

本県から参加された櫻田義孝衆議院議員は、挨拶で、県内各地で憲法改正推進会議を設立することを表明された。同じく斎藤守千葉県議会議長は、意見表明で、「国民投票に向けた国民的議論を盛り上げネットワーク形成を」と題し、船橋市で憲法改正推進市民の会を設立した旨、紹介された。今後、活動を活発にしていきたいと述べられた。

また、織田邦男氏もセント・



櫻田義孝衆議院議員は、挨拶で、県内各地で憲法改正推進会議を設立することを表明された。同じく斎藤守千葉県議会議長は、意見表明で、「国民投票に向けた国民的議論を盛り上げネットワーク形成を」と題し、船橋市で憲法改正推進市民の会を設立した旨、紹介された。今後、活動を活発にしていきたいと述べられた。

ギルバート氏とともに憲法改正に向け、提言された。

県隊友会から支部長、理事役計5名が参加した。我々自衛隊OBとしても、憲法に、国を守るため「陸・海・空自衛隊」を保持することを記述し、教科書に「自衛隊は、違憲の疑いあり」と書かれている現状に早く終止符を打ってもらうことを期待する。【事務局】

## 下総航空基地追悼式

下総教育航空群司令 浅岡哲史1等海佐は、昨10月31日(火)、11時から平成29年度下総航空基地殉職隊員追悼式を執行した。式は、同基地「雄魂の碑」前で斎行され、ご遺族(2家族3名)、事故機僚機機長、海自教育航空集団司令官を始めとする現役隊員、来賓として下総水交会会長、基地OB会(ネプチューン会)会長、3術校校友会会長、阿比留柏市議会議長、翼の会会長代理、千葉県海上自衛隊OB会会長代理などが出席された。県から安達副会長が出席し、殉職隊員を慰霊するとともに現役隊員の任務遂行における無事をお祈りした。式後、ご遺族及び主要参列者の会食、ご遺族3名はその後、基地内を見学された。「雄魂の碑」は、これまでに、硫黄島における夜間着陸訓練時の事故等による34御柱を合祀、当基地における殉職事故は、昭和63年以降生起していない。



下総教育航空群司令 浅岡哲史1等海佐は、昨10月31日(火)、11時から平成29年度下総航空基地殉職隊員追悼式を執行した。式は、同基地「雄魂の碑」前で斎行され、ご遺族(2家族3名)、事故機僚機機長、海自教育航空集団司令官を始めとする現役隊員、来賓として下総水交会会長、基地OB会(ネプチューン会)会長、3術校校友会会長、阿比留柏市議会議長、翼の会会長代理、千葉県海上自衛隊OB会会長代理などが出席された。県から安達副会長が出席し、殉職隊員を慰霊するとともに現役隊員の任務遂行における無事をお祈りした。式後、ご遺族及び主要参列者の会食、ご遺族3名はその後、基地内を見学された。「雄魂の碑」は、これまでに、硫黄島における夜間着陸訓練時の事故等による34御柱を合祀、当基地における殉職事故は、昭和63年以降生起していない。

## 基地・駐屯地創立記念行事

◇松戸駐屯地創立65周年記念行事に参加  
昨年9月30日(土)、10時から式典及び祝賀会食が行われた。松戸市自衛隊協力会会長 渡辺博道前衆議院議員(当時)、農林水産大臣 斎藤健前衆議院議員、外務副大臣 藤正久 参議院議員は、来賓として祝辞を述べられた。また、清水聖士鎌ヶ谷市長、浜田穂積県議、河上茂県議、中村実県議が列席された。

◇下総航空基地開設58周年記念行事に参加  
昨年10月7日(土)、10時から柏・鎌ヶ谷・白井市各市長、浜田・田中・石井・阿部各県議、宇都参議院議員、国会議員代理などを来賓に迎え、式典及び午餐会が行われた。祝賀飛行は、天候不良のため、中止された。



松戸記念日 陸自高等工科学 校生徒ドリル隊  
下総記念日 宇都参議院議員を囲んで

- ### 事務局からの連絡事項
- ◆12回県隊友会ゴルフ大会開催について  
◎開催日 11月22日(火)、9時スタート  
◎開催場所 ムーンレイク 茂原GC 茂原市長尾1647 電話0475-2218317  
◎競技 ①団体戦 ②支部(3名×5名) 対抗戦(混成支部も可) ③個人戦 ④家族・協力者等の参加を歓迎

- ◎経費 9千600円、参加費3千円
- ◎申し込み 支部でまとめて参加者の「氏名・生年月日・固定電話番号・携帯電話番号、メール」を3月23日(金)までにご連絡ください。(支部でまとめない場合は、個人毎)
- ◎担当(連絡先) 木更津支部 柏谷健蔵 電話0438-2313207 (FAX含む・留守電)、Eメール kenzo\_kajima@me.ne.jp
- ◆平成29年度後期理事会及び支部長等会議 3月1日(木)、13時30分から千葉市民会館会議室で実施。県理事役・監事役及び支部長等は参加を。
- ◆平成29年度千葉県自衛隊入隊予定者激励会 3月3日(土) 13時から四街道文化センターで開催。今春以降、自衛隊に入隊する若者を激励します。第1部激励会、第2部音楽会。多くの方の参加をお待ちします。
- ◆平成30年度県隊友会 通常総会・表彰式・懇親会 4月19日(木) 午後 三井ガーデンホテル千葉(千葉市中央区)で開催予定
- ◆平成30年度年会費・会運営協力費納入のお礼 年会員の皆様には年会費を、該当する終身会員の皆様には会運営協力費(寄付)をお願いしています。宜しくお願致します。
- ◆家族支援協力のお願い 家族支援を希望する自衛官の居住する支部長には、昨年末に支援可能な会員の発掘をお願いしています。既に数個の支部から支援可能な会員の通知を頂いています。感謝申し上げます。

## 小淵信夫会長新年ご挨拶



うございませう。明けましておめでと

皆様、在業自衛隊員の皆様、防衛関係諸団体団体の皆様にとりまして、本年がこれまでと同様、健康で輝かしい年になりますことをお祈り申し上げます。

さて昨年は、年の漢字に「北」が選定されたことが象徴しているように、北朝鮮情勢を巡る安全保障情勢、特に弾道ミサイル発射や核実験に攪乱させられた一年でした。「9月、6回目の水素爆弾実験の完全成功、11月末の新型大陸間弾道弾ICBM火星15号の発射」を表明する等、周辺地域や世界を脅威に晒す行いは、孤立化を助長し、関心を惹きつけて反発を生むだけでなく、北朝鮮国民やその生活を守るためのものとは決して思えないものでした。そのような安全保障情勢とは裏腹に、昨年の「酉年」は、鳥が黎明を告げることから新たな時代を開く吉祥のシンボルであり、特に商売繁昌をもたらす年とされてきたとおり、経済成長という実りをもたらした一年(実感できないものの世論もあるが)でありました。中国においても鳥は、吉兆をもたらす動物とされています。それを表すように中国は、経済面で巨大経済圏構想「一帯一路」を打ち出し、昨年の共産党大会で習政権の盤石とも言える二

期目体制が整いました。その影響力は今後益々拡大するものと予想されます。安全保障に於いて、北朝鮮情勢以外の周辺情勢にも目を転じると、中国は、わが国周辺海域での活動を活発化しており、海軍艦艇部隊による太平洋への進出頻度が高くなり、また中国機に対する空自の緊急発進回数も、平成28年度過去最多を更新しました。南沙諸島等を含め、このように既存の国際秩序とは相容れない、力を背景とした現状変更の既成事実化は、周辺のみならず国際的安全保障上の影響が懸念されることと見られます。またA2AD戦略は、将来的に米国等にとって大きな脅威となるでしょう。米国防長官は、2月の日米首脳会談で安倍首相は、2月の日米首脳会談で尖閣諸島が日米安保条約の適用対象であることを共同声明に明記し、同盟強化の方針を確認して安全保障上の日米関係は引き続き強固なものとなっています。さて、今年の「戌年」は、酉年で得た成果をもって、基盤の充実やリスクヘッジ、社会性をもって親しむことなどフォローすることが、新たな芽や価値を生む(安産)ために重要な年であり、そのための粘り強い努力が大切となる年と見られます。当面の焦点は、北朝鮮が核・ミサイル開発の破棄を前提とした対話のテーブルに着くか、為政者が意識や国家計画の大転換を図ることができるかどうか。日米韓中等周辺国や国連の緊密

な外交・軍事面等での緊密なる連携が一層期待されることと見られます。そして、これから将来に向けては、中国がいかにか協調的な形で積極的な役割を果たしていくのか、中国とわが国をはじめ周辺国との経済・外交がどのようにか、そして安全保障面でもこれまでリスクを軽減できるのか等、重層的な関係の動向に着目する必要があるでしょう。

自衛隊は、昨年もシブチへの部隊派遣や南スーダンへの司令部要員派遣などの国際平和活動により世界の平和と安定に貢献するとともに、九州豪雨などの災害において人命救助や生活支援等で活躍してくれました。今後は、安全保障情勢の変化を予測し、かつこれにしっかりと対応して、領土・領空・領海、国民の生命・財産を守り続けていっていかねばなりません。新たな防衛態勢の構築や教育訓練により精強な自衛隊を創設していただくべく、新防衛計画の大綱、新中期防の策定が、自衛隊が与えられた任務・役割をしっかりと果たせるよう進められることを切望しております。

隊友会としては、各種の活動を実施しておりますが、日夜頑張っている自衛隊や自治体への支援・協力は極めて大切であるとの認識に立ち、家族支援協力・国民保護支援などについて、実現・実行できる具体案検討を進めて

いることと見られます。また、昨年度から、政策提言を借行社・水交会・つばさ会と4団体で行っており、今年度も憲法改正をはじめ、防衛政策、防衛力整備、自衛隊員の処遇等に関する広範な内容について政策提言書を、政府・与党に提出・説明しています。一例として、警戒監視の任務化(これまでに防衛省設置法の「調査・研究」に根拠を置くことから、自衛隊法に規定しつつその権限を規定)、大幅な防衛費の増加による着実な防衛力整備、防衛産業の維持・育成等を取り上げています。

そして、隊友会の最大の課題が会勢の拡充であることは現在もまだ変わっておりません。昨年は、県隊友会として下志津、松戸に加えて、習志野駐屯地、下総基地においても駐屯地・基地先任上級曹長等に対する概要説明及び懇談会を実施しました。これらの施策により本年度かなりの成果を得られる見通しですが、引き続きこの活動を継続・拡大し、隊友会活動の意義や各種制度などの特典についても強調し普及していくことを考えております。

皆様の今年一年のご健勝、ご活躍を心より祈念いたしますとともに、千葉県隊友会に対する変わらぬご支援、ご協力を心より願ひ申し上げます。



## 千葉県殉職隊員追悼式会場「鎮の庭」を整備



県隊友会は、昨10月3日(火)、陸自下志津駐屯地自衛隊員追悼式場である「鎮の庭」の整備支援を四街道支部を主力に千葉若葉、船橋、木更津、千葉稲毛、市原、八

街、市川、白井の各支部及び県本部からこれまで最大の会員31名で行った。前夜の雨も何とかおさまった8時半、全員集合して本事業の計画責任者である大根理事役の点呼を受けた後、久保四街道支部会員の作業組分・指示・安全確認に続き、整備作業を開始、高射学校の現役隊員とともに樹木剪定・枝落とし・清掃を行い、途中、会食・休憩をはさんで15時半に概成し、終了した。途中、藤田浩和駐屯地司令にも激励頂いた。

## 自衛隊殉職隊員千葉県追悼式に参列

陸自高射学校長兼下志津駐屯地司令 藤田浩和陸将補は、昨10月21日(土)、11時から平成29年度自衛隊殉職隊員千葉県追悼式を執行し、本年度、新たに3柱を加えた県殉職隊員52柱の御霊を慰霊した。この中で、昨年5月15日、北海道で緊急患者輸送(災害派遣)の任務に当たっていた陸自連

絡員察機LR-2の墜落事故で殉職された4名の隊員のうち2名が千葉県出身で新たに御柱に加わり、ご遺族も参列された。式には、ご遺族及び墜落LR機所属部隊長である陸自北部方面航空隊長をはじめとする現役隊員に加え、来賓として森田健作千葉県知事、国会議員、県議・市議会議員、在

県部隊指揮官、最先任上級曹長、先任伍長、千葉県自衛隊協力会連合会、千葉県自衛隊家族会、千葉県自衛隊援護協力会、千葉県隊友会会員他が参列した。県隊友会から小淵会長・支部長等計22名が参列、殉職隊員を悼むとともに、現役隊員の弾道ミサイルなどに対する日々の警戒任務、海外任務、災害派遣及び教育訓練における無事をお祈りし、一人一人、献花した。今年度は、台風21号の影響を受けた悪天候のため、例年、県隊友会が整備支援を行っている「鎮の庭」ではなく、駐屯地体育館で肅行された。



## 千葉県防災備蓄倉庫を研修

松戸支部及び沼南支部は、昨11月30日(木)、両支部長をはじめ会員13名をもって、松戸市松戸に所在する千葉県西部防災センターに併設されている千葉県防災備蓄倉庫を研修した。千葉県庁防災危機管理本部危機管理課の安達主査の案内説明で倉庫内に備蓄されている食糧、毛布、簡易トイレ・入浴セット・浄水機、防水シート、簡易炊事具、灯光器、発電機等の保管状況を確認した。安達主査から、県内に13箇所の備蓄倉庫があり、その備蓄品は、市町村の備蓄品を補充するものである。そのため県は、有事、市町村に備蓄品を払い出すことになる。その際、市町村からの支援要望を待たずに県から積極的に物資を押し出す要領(プッシュ型支援)を行うとしていて、それを可能にするため、トラック協会や倉庫協会と協定を結び、有事の際の輸送力及び他県からの支援物資を含む保管倉庫の確保に努めているなど説明があった。会員からは、備蓄品払出し時の車両運行方向、保管場所からの積載場所までの搬出と積載要領、松戸市備蓄品と県備蓄品の位置付け・互換性、発電機等の定期点検間隔・要領など活発な質問が出た。この他、船橋支部は、10月20日、葛南備蓄倉庫(船橋市高瀬)を、山武東金支部は、11月14日、山武備蓄倉庫(東金市油井)を研修した。県隊友会は、これらの研修結果等に基づき支部の意見を踏まえ、県との防災協定締結を目指す。



安達主査から倉庫の説明



## 各地で慰霊活動を実施

夷隅支部は、定例年2回目の旧海軍駆逐艦「沖風」慰霊碑清掃を昨11月25日(土)、午後1時から3時まで支部員5名にて行い、本年1月10日の慰霊祭に備えた。



柏支部は、昨10月29日(金)、14時からアミュセ柏クリスタルホールにおいて柏市長執行で肅行された同市戦没者慰霊祭に支部長及び役員が参列、献花した。また9月23日(土)、9時から

支部以下5名及び柏市遺族会22名並びに柏市役所職員1名で柏公園内忠霊之碑を清掃、引き続き参拝した。坂鎌ヶ谷支部長以下8名は、昨8月15日(火)、10時から鎌ヶ谷忠霊塔(鎌ヶ谷市初富本町)を清掃、引続き、献花・参拝した。本参拝は、初めての試みであり、今後、継続して行く。

## 29年秋の叙勲受章【敬称略・順不同】

おめでとございます。

### ◆藍綬褒章

【千葉若葉】 原島 昌人(海)

### ◆瑞宝小綬章

【茂原】 石井 健治(空)  
【市川】 白戸 直之(海)  
【成田】 寺口 聡(海)  
【船橋】 冨田 稔(陸)  
【白井】 藤本 四郎(陸)  
【佐倉】 四ツ家 邦紀(空)

### ◆瑞宝双光章

【船橋】 青木 敏春(陸)  
【我孫子】 加藤 一成(陸)  
【木更津】 川崎 善久(海)  
◆瑞宝単光章  
【白井】 市毛 増男(海)  
【安房】 片岡 芳長(海)  
【船橋】 亀田 秀治(空)  
【山武東金】 越川 行雄(海)

29年9月・10月・11月・12月入会者

入会深謝・隊友会の発展にご協力を

【夷隅】 小安 和夫(陸)  
【沼南】 松村 幸仁(海)  
【木更津】 増淵 浩明(陸)  
【船橋】 廣幡 賢一(陸)

【船橋】 樺 政児(陸)  
【八千代】 宮本 隆士(陸)  
【山武東金】 鈴木 飛生(陸)  
【成田】 林 亮太(陸)  
【浦安】 川口 広大(陸)  
【長生】 酒井 靖志(陸)  
【鎌ヶ谷】 清水 隆弘(陸)  
【千葉美浜】 石井 治方(陸)  
【松戸】 渡部 紀夫(陸)  
【館山】 小金 秀治(海)  
【我孫子】 高橋 尚樹(海)  
【成田】 岡村 浩幸(陸)  
【柏】 岩田 忠久(陸)  
【千葉緑】 寺田 到(陸)  
【我孫子】 大竹 幹男(陸)  
【松戸】 下田 博美(海)  
【船橋】 朝倉 正秀(陸)  
【船橋】 村松 康一(陸)  
【千葉若葉】 阿比留 幸利(陸)  
【香取】 金生谷 浩伸(陸)  
【佐倉】 敷根 文裕(陸)  
【柏】 岡田 弘樹(海)  
【八千代】 吉住 尚昭(陸)  
【松戸】 白川 誠(陸)  
【山武東金】 小田 定(海)  
【船橋】 伊藤 昭吾(陸)  
【山武東金】 山野 順良(陸)  
【松戸】 本山 宏(海)  
【柏】 内野 俊也(陸)

## 日本会議・日本会議国会議員懇談会設立20周年記念大会に参加

昨11月27日(月)、14時から東京プリンスホテルで開催され、県隊友会から3名が参加した。大会は、日本会議のこれまでの活動を繰った20年史DVDの上映の後、田久保忠衛日本会議会長、日本会議国会議員懇談会第3代会長平沼起天元衆議院議員のメッセージ紹介、現日本会議国会議員懇談会会長古屋圭司衆議院議員による主催者挨拶で始まり、安倍晋三自民党総裁の祝辞(メッセージ)が紹介された。その後、下村博文衆議院議員、松沢成文参議院議員、馬場伸幸衆議院議員は、それぞれの政党の立場から憲法改正に積極的に取り組むと力強く祝辞を述べられた。続いて、ジャーナリスト 櫻井よしこ氏、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会会長飯塚繁雄氏、麗澤大学特別教授古森義久氏、作家竹田恒泰氏、日本会議愛媛県本部相談役加戸守行氏他が憲法改正やその運動などに向けた提言を述べられた。最後に日本会議理事長 網谷道弘氏による大会宣言文発表と日本会議国会議員懇談会政策審議会議長山谷えり子参議院議員の音頭による出席者全員の勝鬨で幕を閉じた。



## 北方領土返還要求中央アピール大行進に参加

北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会会長根室市長長谷川俊輔氏は、北方領土返還に対する国民意識の高揚と返還に向けた外交交渉を支援する目的をもって、昨12月1日(金)、12回目となる北方領土返還要求中央アピール大行進を行った。10時半から都内日比谷公園野外音楽堂において江崎鉄磨北方大臣、堀井学外務大臣政務官はじめ国会議員、北海道議会議長などを来賓に迎え、各都道府県代表、労働組合連合、関係支援団体、防衛関係団体(隊友会・家族会)など500名余りが参加、出発式を行った後、音楽堂横から銀座を経て鍛冶橋文差点まで約1時間わたってアピール行進を行い、北海道根室の思いを中央に届けた。



## 千葉緑支部 西原徳彦会員 日本新記録樹立

昨9月10日(日)、浜松市総合水泳場で行われた「2017アロームロンイワタマズターズ大会」において男子60〜64歳、25メートル平泳ぎの部で15秒08の日本新記録を樹立。従来の日本記録は15秒09。

